

■米国：ニューヨーク市長、建物でのガス、石油系燃料使用禁止に向け法案を検討

エネルギー情報誌は2020年2月7日、ニューヨーク市のBill de Blasio市長が気候変動問題に対処するため、「大規模建物でのガスや石油系燃料の使用を禁止する法案を検討する」と述べたと報じた。米国ではカリフォルニア州やワシントン州で同様の動きが広がっており、ニューヨーク市も加わることになる。ニューヨーク市は2050年にカーボンニュートラル達成を目標としており、この目標に沿った新築建物の認可を行うことを検討する中で、2040年以降の化石燃料の使用禁止が検討されるもの。米国で広がるガス使用禁止の多くは新たに建設される建物に適用されるが、ワシントン州のBellinghamでは既存建物も対象となっている。